

東日本大震災現地NPO応援基金〔特定助成〕  
大和証券フェニックスジャパン・プログラム 2016  
－被災地の生活再建に取り組むNPOの人材育成－

**実施報告書**

(2016年10月～2017年9月)

2018年5月21日

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター  
特定非営利活動法人市民社会創造ファンド

## プログラム概要

- 本プログラムは、大和証券株式会社に「ダイワ・ニッポン応援ファンド Vol.3ーフェニックスジャパンー」の信託報酬の一部をご寄付いただき、認定特定非営利活動法人日本NPOセンターが「東日本大震災現地NPO応援基金」の特定助成として、特定非営利活動法人市民社会創造ファンドと協力して実施しています。
- 東日本大震災の復興支援（被災者の生活再建等の支援）のため、NPOの果たす役割には、大きな期待が寄せられている。しかしその組織基盤は未だ弱く、必要な支援を自力で安定的に供給するためには組織の基盤強化が必要であり、特に適切な人材の確保と育成が不可欠である。このプログラムではそのような人材を雇用から支援し育成することで、被災者の生活再建への寄与を願うものです。

### ●プログラム概要

- ・プログラム名 東日本大震災現地NPO応援基金〔特定助成〕  
大和証券フェニックスジャパン・プログラム
- ・テーマ 被災地の生活再建に取り組むNPOの人材育成
- ・助成対象 岩手県、宮城県、福島県等において被災者の生活再建を長期的視点で支援する「現地NPO」
- ・実施期間 2012年開始
- ・助成方法 公募助成（毎年1回の公募）
- ・助成期間 1年間（10月～翌年9月）
- ・助成実績
  - 2012年 3,100万円（新規助成7件2,950万円、合同研修助成150万円）
  - 2013年 3,503万円（新規助成5件1,860万円、継続助成4件1,493万円、合同研修助成150万円）
  - 2014年 3,210万円（新規助成7件2,325万円、継続助成2件685万円、合同研修助成200万円）
  - 2015年 3,680万円（新規助成6件2,489万円、継続助成3件941万円、合同研修助成250万円）
  - 2016年 2,407万円（新規助成3件1,080万円、継続助成4件1,327万円）

## 2016年助成プログラム（2016年10月～2017年9月）

### (1) 2016年助成プログラムの経過

2016年助成は、2016年10月に助成を開始し、2017年9月に1年間の助成期間を終了した。対象団体は7団体・育成対象スタッフ9名であった。

助成期間開始前、新規助成採択通知に対して1団体より辞退の連絡があった。

助成期間中の途中終了は、新規助成の一般社団法人 SAVE IWATE の対象スタッフ1名が体調不良のため2016年11月時点で、認定特定非営利活動法人いわき自立生活センターの育成対象スタッフ1名が体調不良のため2017年5月時点で、また継続助成の特定非営利活動法人愛ネット高田の育成対象スタッフ1名が退職のため2017年3月時点での助成終了となった。

### <2016年助成対象一覧>

【新規助成】3件／助成額：1,080万円

No.	プロジェクト名	団体名	所在地	金額 (万円)
1	和グルメからの経済復興を担う中核人材の育成	一般社団法人 SAVE IWATE	岩手県 盛岡市	446
2	中核スタッフの総合力強化による事業充実と組織強化プロジェクト	特定非営利活動法人 故郷 まちづくりナイン・タウン	宮城県 登米市	264
3	被災地の障がい者・難病者支援力強化	認定特定非営利活動法人 いわき自立生活センター	福島県 いわき市	370

【継続助成】4件／助成額：1,327万円

No.	プロジェクト名	団体名	所在地	金額 (万円)
1	共育プログラムの発展と継続のための基盤づくりとその担い手となる若手スタッフの育成（2）	一般社団法人 おらが大槌夢広場	岩手県 大槌町	343
2	被災地の障がい者、高齢者等の持続的 生活支援のための運営管理者育成 （2）	特定非営利活動法人 愛ネット高田	岩手県 陸前高 田市	250
3	被災地で暮らす障害者の素敵な生き 方・はたらき方を支援する人材育成 （2）	特定非営利活動法人 ポラリス	宮城県 山元町	354
4	線量が高い地域における発達障がい 児サポートの支援力向上のためのス タッフ育成（2）	特定非営利活動法人 みんなのひろば	福島県 伊達市	380

## (2) 2016 年助成の結果

### 【新規助成】

#### ●一般社団法人 SAVE IWATE

「和グルメからの経済復興を担う中核人材の育成」

(育成対象スタッフ 2名/和グルメ事業担当)

##### 団体設立の経緯と活動概要

東日本大震災で岩手県沿岸地域が甚大な被害を受けた状況から、被災地の市民等と協働し、被災者の救援、生活再建や被災地域の復興支援活動に取り組むことにより、安全で安心して暮らすことができる社会の形成に寄与することを目指す。盛岡を拠点に、被災者の方々の就労支援と生きがいづくりのため、和グルメによるビジネス創出のほか、裁縫や樹皮細工による手仕事、被災地の物産販売などを実施している。

##### 助成による育成事業の内容

避難者支援としての和グルメの事業が自立的に継続できる事業へと成長してきたため、さらなるステップアップを目的として、スタッフ2名の育成を行う。

OJT と外部研修での知識取得によって生産性向上に取り組み、またグルメ製品の開発のため他県への視察を行った。

##### 成果と課題

今回の育成事業で、集中的に取り組む時間を作れたことにより、育成対象スタッフが生産工程を理解し、よりスムーズな作業に改善することができた。さらに専門的知識習得のため外部の研修にも参加したことで、効率性の向上につながった。他県への視察では和グルメ製品販売のヒントを得ることができたので、今後の販売拡大に繋がることが期待される。

- ・代表者: 理事長 寺井良夫
- ・所在地: 岩手県盛岡市
- ・設立年: 2011 年
- ・活動地域: 岩手県盛岡市
- ・<https://sviwate.wordpress.com/>



#### ●特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン

「中核スタッフの総合力強化による事業充実と組織強化プロジェクト」

(育成対象スタッフ 1名/事業担当者)

##### 団体の概要

登米市合併を受け、地域資源の再発見や、まちづくり、自主防災などの地域活動を通じた学びの場を提供することにより、将来に向けて住みやすい地域づくりを支援することを目的として設立。東日本大震災の支援では、登米市や南三陸町で活動を行ってきた。

##### 助成による育成事業の内容

運営基盤強化や人材育成が後手に回っていたため、従事スタッフの総合的なスキルアップを図りながら、自主財源確保や、中長期に働くことができる職場体制の確立を目的とする。企画立案や関係機関との協働事業での OJT で取り組む。

##### 成果と課題

これまで事務局長が担ってきた、事業の企画、調整、とりまとめを対象スタッフが一通り経験した。その中で、事業を見通すスキルなどの実践力のほか、関係機関との信頼関係や、担当業務に対する責任感の醸成につながった。今後、対象スタッフを中心とした新たな事業展開の兆しが生まれることにも繋がった。

- ・代表者: 理事長 小野寺敏
- ・所在地: 宮城県登米市
- ・設立年: 2009 年
- ・活動地域: 宮城県登米市
- ・<http://nine-town.org/>



## ●認定特定非営利活動法人 いわき自立生活センター

「被災地の障がい者・難病者支援力強化」

(育成対象スタッフ 2名/ホームヘルプ事業部担当)

### 団体の概要

障がい者の自立支援を掲げ、約20年間活動。震災直後から被災者支援にも取り組み、NPOネットワークの形成を下支えしてきた。障がい者地域生活支援施設の新たな設置など、事業拡大の段階にある。

### 助成による育成事業の内容

障がい者介護事業の経営基盤を強固なものにし、被災者支援などの地域課題にも取り組むために、法人の次世代リーダーを育成強化する。

### 成果と課題

会計や人員配置など組織運営に関係する部分へ対象スタッフが関わることにより、経営視点を持ったスタッフを増やすことができた。また、近隣のNPOに訪問しマネジメントに関する見識を深めることができた。

- ・代表者:理事長 長谷川 秀雄
- ・所在地:福島県いわき市
- ・設立年:2001年
- ・活動地域:福島県各地
- ・<http://ciliwaki.wixsite.com/ciliwaki>



## 【継続助成】

### ●一般社団法人おらが大槌夢広場

「共育プログラムの発展と継続のための基盤づくりとその担い手となる若手スタッフの育成(2)」

(育成対象スタッフ 1名/ツーリズム事業受入サポート担当)

### 団体の概要

震災により甚大な被害を受けた大槌町において、観光、商工、農水産業の発展と、それらの担い手である大槌町民の生活再建に寄与することを目的に設立。地域の雇用を生み出す「大槌復興食堂」などを実施し、現在は、大槌に関心を持つ人たちが地域に関わり続けるための交流事業「共育プログラム」を中心に行っている。

### 助成による育成事業の内容

1年目は、「共育プログラム」の企画運営スキル、誘致営業スキル、事務的スキル等の定着と育成スタッフ独自スタイルの確立を目指した。

2年目は、事業に対する主体性を更に伸ばし、独り立ちして事業が行えるまでに育成することを目指す。

### 成果と課題

対象スタッフが自立して対応できる業務や案件が増えた。「共育プログラム」の受け入れ可能件数が増えることや、ファシリテーターとして独り立ちしつつあることは、量と質の双方での組織への貢献となった。

- ・代表者:代表者 臼沢和行
- ・所在地:岩手県大槌町
- ・設立年:2011年
- ・活動地域:岩手県大槌町
- ・<http://www.oraga-otsuchi.jp/>



## ●特定非営利活動法人 愛ネット高田

「被災地の障がい者、高齢者等の持続的生活支援のための運営管理者育成（２）」  
（育成対象スタッフ 1名／団体運営管理者）

### 団体の概要

震災後、公共交通機関での移動が難しい障がい者や要介護者等に対する車輛での移動支援活動を実施。また、介護保険事業として居宅および訪問介護事業を行っている。

### 助成による育成事業の内容

震災により中核的な人材を失ったことから、法人事業運営の要となる福祉専門職員を経営能力を持ち合わせた運営管理者へと育成した。OJTによる法人運営や財務等の職場内研修と、総務・会計や労働環境改善のため産業カウンセラーの知識を学ぶ外部研修を行った。

### 成果と課題

労働時間管理や労務管理において、1年目に外部研修で習得した知識と、組織内での実践の整合性を持つことができた。

・代表者:代表理事 岡本幸子  
・所在地:岩手県陸前高田市  
・設立年:2002年  
・活動地域:岩手県陸前高田市及び近隣市町村  
・<http://ainet-takata.com/>



## ●特定非営利活動法人ポラリス

「被災地で暮らす障害者の素敵な生き方・はたらき方を支援する人材育成（２）」  
（育成対象スタッフ 1名／事務局長）

### 団体の概要

宮城県山元町において、障害者支援を専門とする唯一のNPOとして設立。障害者の社会参加を促進するため、障害者の就労支援事業においては、特にアート活動によるものづくりや、障害のあるなしに関わらず参加できる表現活動などを行う。

### 助成による育成事業の内容

1年目は、事務局長としてのスキルを獲得すべく、会計、税務、労務管理についての専門家による指導を受けたり、障害者福祉の専門性を高めたりすることを目的に、他の先進事例を訪問するなどの研修を行った。

2年目は、事務局長の業務をより効率化することに加え、今後の活動を広げるための見識と地域での関係づくりを目指す。

### 成果と課題

事務にかかる時間を効率化していくことで、より支援者に関わる時間を確保することができた。これらは利用者数や利用日の増加にも繋がっている。地域に今後必要とされる活動について見識を得て団体に持ち帰ることもできた。

・代表者:代表理事 田口ひろみ  
・所在地:宮城県山元町  
・設立年:2015年  
・活動地域:宮城県山元町  
・<http://polaris-yamamoto.com/>



## ●特定非営利活動法人 みんなのひろば

「線量が高い地域における発達障がい児サポートの支援力向上のためのスタッフ育成  
(2)」

(育成対象スタッフ 2名／児童福祉・障がい児教育の専門スタッフ)

### 団体の概要

福島県伊達市において、フリースクール事業を行っている。震災で団体事務所が被災し、現在の場所に移転。フリースクールの児童生徒のうち多くが発達障がいと診断され、特性に応じたサポートに取り組んでいる。

### 助成による育成事業の内容

1年目は、放課後等デイサービス立ち上げのため、2名の育成対象スタッフが専門知識をつけることができた。

2年目は、それぞれの学びたい方向に合わせたフィールドワーク研修とスーパーバイズを重ねていき、専門性や支援力の向上を図る。

### 成果と課題

1週間程度、集中して外部の現場に参加するなどして、実践を通して知識と経験を深めることができた。2名の育成によって活動の安定化に大きく貢献した。育成の成果は理事や他職員にも共有され、今後の組織の発展にも寄与する育成となった。

・代表者:理事長 齋藤大介  
・所在地:福島県伊達市  
・設立年:2004年  
・活動地域:福島県伊達市、福島市、福島県内

